

農業経営改善計画認定申請書

記入例

年 月 日

○ 稲敷市長 様	住所	フリガナ	フリガナ	連絡先
茨城県知事 様	フリガナ	フリガナ	フリガナ	
関東農政局長 様	個人・法人名	代表者氏名 (法人のみ)	代表者氏名 (法人のみ)	
	生年月日・ 法人設立年月日	法人番号	法人番号	

夫婦、親子等が共同で一の農業経営改善計画の認定を申請する場合には、申請者欄の「個人・法人名」欄に全員の氏名、フリガナ、生年月日を連記してください。

第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農業経営改善計画

※法人のみ記載

①農業経営者の営農活動の現状及び目標

(1) 営農類型

<input checked="" type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類・豆類 <input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物 () <input type="checkbox"/> 複合経営	<input checked="" type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類・豆類 <input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物 () <input type="checkbox"/> 複合経営
--	--

市の基本構想において定められていますので、
 ・年間農業所得は「580万円以上」
 ・年間労働時間は「2000時間以内」
 の数字を目標として記入して下さい。

(2) 農業経営の現状及びその改善に関する目標

	現 状	目 標 (R8 年)	現 状	目 標 (R8 年)	主たる従事者の人数
年間所得	300万円	580万円	2,400時間	2,000時間	1人
主たる従事者1人 当たりの年間所得	300万円	580万円	主たる従事者1人 当たりの年間労働時間	2,000時間	

②農業経営の規模拡大に関する現状及び目標

(1) 生産

作目・部門名 (耕種)	現 状		目 標 (R8 年)		作目・部門名 (畜産)	現 状		目 標 (R8 年)		事業内容	現 状		目 標 (R8年)	
	作付面積 (a)	生産量	作付面積 (a)	生産量		飼養頭数 (頭、羽)	生産量	飼養頭数 (頭、羽)	生産量		現 状	目 標 (R8年)		
水 稲	600	32,100 (kg)	1,200	64,200 (kg)						米の加工	100万円	200万円		
										作業受託(収穫)	50万円	100万円		
											万円	万円		
											万円	万円		

※面積は下記の(3)農用地及び農業生産施設 ア農用地の(所有地+借入地)の面積及びその他の面積と合わせて下さい。
 「作業受託」の場合、全作業を行っている農地の面積を記載して下さい。

(3) 農用地及び農業生産施設

区 分	所在地		地目	現 状 (a)	目 標 (R8 年) (a)	種 別	所在地		規 模			
	都道府県名	市町村名					都道府県名	市町村名	現 状		目 標 (R8 年)	
									棟	㎡	棟	㎡
所有地	茨城県	稲敷市	田	300	400	パイプハウス	茨城県	稲敷市	2	300	4	600
借入地	茨城県	稲敷市	田	200	700							
その他	茨城県	稲敷市	田	100	100							
経営面積合計				600	1,200	経営面積合計				380	680	

※借入地は、農業委員会を通して利用権設定を結んでいる農地を記入して下さい。

※その他は、利用権設定をしていない借入地(全作業)を記入して下さい。

<p>③生産方式の合理化に関する現状と目標・措置</p> <p>例① 現状：6ヶ所に分散(最大80a)、最大移動距離3km 目標：現在の耕地付近に集積し、団地を形成する。 措置：農地の集積・集約化を進めることで団地の形成を行う。</p> <p>例② 現状：トラクター(35ps)等で主作業を行っている。 目標：生産活動の効率化を推進する。 措置：高性能機械の導入により、作業の時間短縮・効率化を実現する。</p>	<p>④経営管理の合理化に関する現状と目標・措置</p> <p>現状：作業日誌、白色申告により経営を管理。 目標：簿記記帳等の会計処理およびデータによる経営管理 措置：青色申告を行い、複式簿記を導入する。また、データによる経営管理として、パソコンで経営内容や作業内容の管理分析を行うべく、必要とされる技能の習得に努める。</p>
--	--

<p>⑤農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置</p> <p>現状：農閑期は他産業に従事、補助労働力は1名。 目標：労働環境改善および人材確保に向けた就業規則等の整備 措置：農業専業とする。また、それに伴い休日制を導入して、臨時雇用を1名確保し、労働環境の整備を行う。</p> <p>↓※家族経営協定を締結している場合に記載 ○家族経営協定締結済み ○役割分担 稲敷太郎：農作業、労働日誌記帳 稲敷次郎：農作業以外、簿記記帳</p>	<p>⑥その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置</p> <p>低利資金の活用をした機械・設備の整備を行う。 ・予定年度：令和〇年度 ・予定資金：2,500万円 ・予定貸付額：2,500万円</p> <p>※制度資金等を活用する予定がある場合、予定年度や予定資金、予定貸付額等を必ず記載して下さい。 ※裏面に取得予定の機械等を記載する欄がありますので、資金を利用して購入する予定の機械等を裏面の欄に記載して下さい。</p>
--	--

